

<教育長だより 81 号 枇差岳朝日に映えて 令和 8 年 1 月 26 日>



## その先へ ～地域展開の現在地～

教育長 津野庄一郎

1月23日（金）、新潟市朱鷺メッセで「部活動地域展開・産官学連携フォーラム in Niigata2025」が開催され3名で参加しました（教育長：津野、生涯学習班長：渡辺、教育指導員兼総括コーディネーター：坂爪）。会場にはスポーツ庁地域スポーツ課担当をはじめ、遠く九州・四国からの参加もあり関心の高さをうかがわせました。長岡市や村上市の先進事例の発表、パネルディスカッション、出店企業とのマッチングフェア（36団体）と盛りだくさんな内容でした。

長岡市は市スポーツ協会が運営主体となり、現行の部活動を基本に種目別のエリアをつくり、「ながおかCome100クラブ」（16種目）を創設して2025年9月から全市一斉に休日活動を展開しています。村上市は来年度からの全部活動の廃止に伴い、休日・平日ともに市内の「総合型スポーツクラブのNPO法人」（認定クラブ25）が運営主体となり、地域展開を進めることです。他校生徒との交流、専門的指導が受けられるといったメリットの反面、やりたい種目がなかったり、指導者の確保や責任、運転手や車両確保が難しかったりという課題も報告されました。それでも子どもたちの豊かな人間性を育みたいという思いは共通でした。

関川村は教育委員会が地域クラブの運営団体となり、2025年4月より主に休日の中学校部活動（運動系）4種目（バスケ・バレー・卓球・柔道）を地域クラブ（実施主体）として活動しています（吹奏楽部は2026年4月から実施）。将来の平日への展開を見据えると課題はありますが、子どもたちのために協力を惜しまない指導者、人間形成、参加費が他市町村に比べて安いという財政支援、地元での世代間交流及び人材育成が、本村の何よりのよさであると言えます。

「地域をよりよくするという社会問題の解決が、地域展開の本質である」とのパネラーの言葉が心に残りました。

<【写真】：開会の挨拶をする新潟県太田教育長>